



【雄山山頂陥没口の時間変化】

7月8日、22日の陥没口は朝日航洋（株）の資料に基づく。8月4-5日の陥没口は、大学合同観測班による地上調査およびセオドライトーアイセーフレーザ測量結果に基づく。8月4-5日時点での陥没口の大きさは南北約1.3km、東西約1.4kmである。3時期の陥没口の最深部付近の深さは山頂駐車場（標高710m）から、それぞれ、約180m、約430m、約450m。陥没口の容積は、それぞれ、約5千万、約2億5千万、約3億5千万立方mと推定される。